

視察報告

議会運営委員会

視察日：平成19年10月17日～19日

視察先：新潟市、長野県飯田市

議会運営委員会は、10月17日から3日間、新潟市及び長野県飯田市を行政視察しました。

新潟市においては、議会運営と新潟競馬事業廃止の事後処理状況について視察しました。

議会運営は議員数が56人で、4つの常任委員会と議会運営委員会、常設的に4つの特別委員会が設置されていました。

新潟競馬は、新潟県・新潟市・三条市・旧豊栄市が構成団体となり、競馬組合を運営してきました。平成12年に累積赤字が55億円を超えたことから、平成13年度限りで競馬を廃止しました。競馬廃止による精算は、県に競馬対策室を設置し、累積債務や13年度赤字分、施設撤去費、組合職員退職金、競馬関係者救済金など、精算総額75億円を2カ年で処理しています。新潟競馬は、累積債務が大きくな

ないうちの廃止決定と関係者への十分な説明により、比較的順調に精算処理が行われたものと思われま

す。飯田市においては、議会による自治基本条例制定について視察しました。飯田市自治基本条例は、前

文と36の条文で構成されており、市民や市、議会の役割などを明記した飯田市の憲法ともいうべきものです。議会内に自治基本条例特別委員会を設置し、議会自らが条文を検討するとともに、市内20地区での地区説明会を2回行うなど、市民を巻き込んだ中で条例が作成されました。このような、作成過程を見ると、その経過及び内容が市民によく理解されるよう配慮されており、当市の自治基本条例制定に向けた動きに何が足りないかを痛切に感じたものであります。



新潟競馬精算状況について説明を受ける議員

教育民生常任委員会

視察日：平成19年10月24日～26日

視察先：岐阜県岐阜市、大垣市、各務原市

当常任委員会は10月24日から26日の3日間、岐阜県岐阜市、大垣市、各務原市を行政視察して来ました。岐阜市では「みんなでつくる・ホットタウンプロジェクト」。大垣市においては「水都つこ子供と親のすくすくのびのび応援ガイド」と「かがやき熟年スクール」。各務原市では「家族・地域・絆プロジェクト」を学んで来ました。その中で各務原市の教育は、「人づくり——心豊かでたくましい子——を合言葉に進められています。これは、未来を担う子供たち一人ひとりが豊かな人生を送るため、「心豊かでたくましい子」に成長してほしい」と言う願いから、知、情、意、体のバランスの取れた「美しい心」と「たくましい体」を進めようと言うものです。そのため、子供の発達段階に応じた家庭、地域、学校などが果たす役割と責任を明らかにすることが大切であり、相互に連携を図りながら子育てに努める必要があるとの観点から、今年度から取り組みられているのがこの事業です。家族や地域の絆が希薄化している昨今、家族の価値や地域の再



岐阜市庁舎前にて